



東側、青葉山公園側から施設を見る。

中の瀬橋上から施設を見る。



南側、国際センター駅側から施設を見る。



交流イベントロビーを見る。



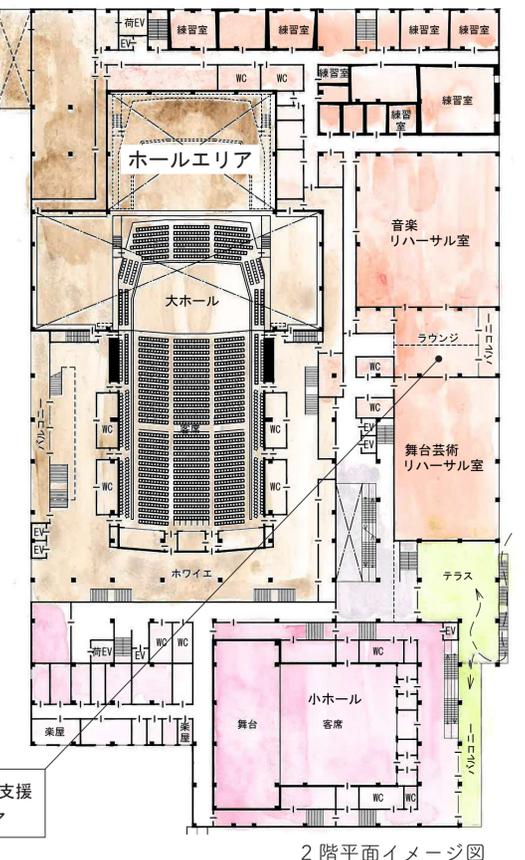
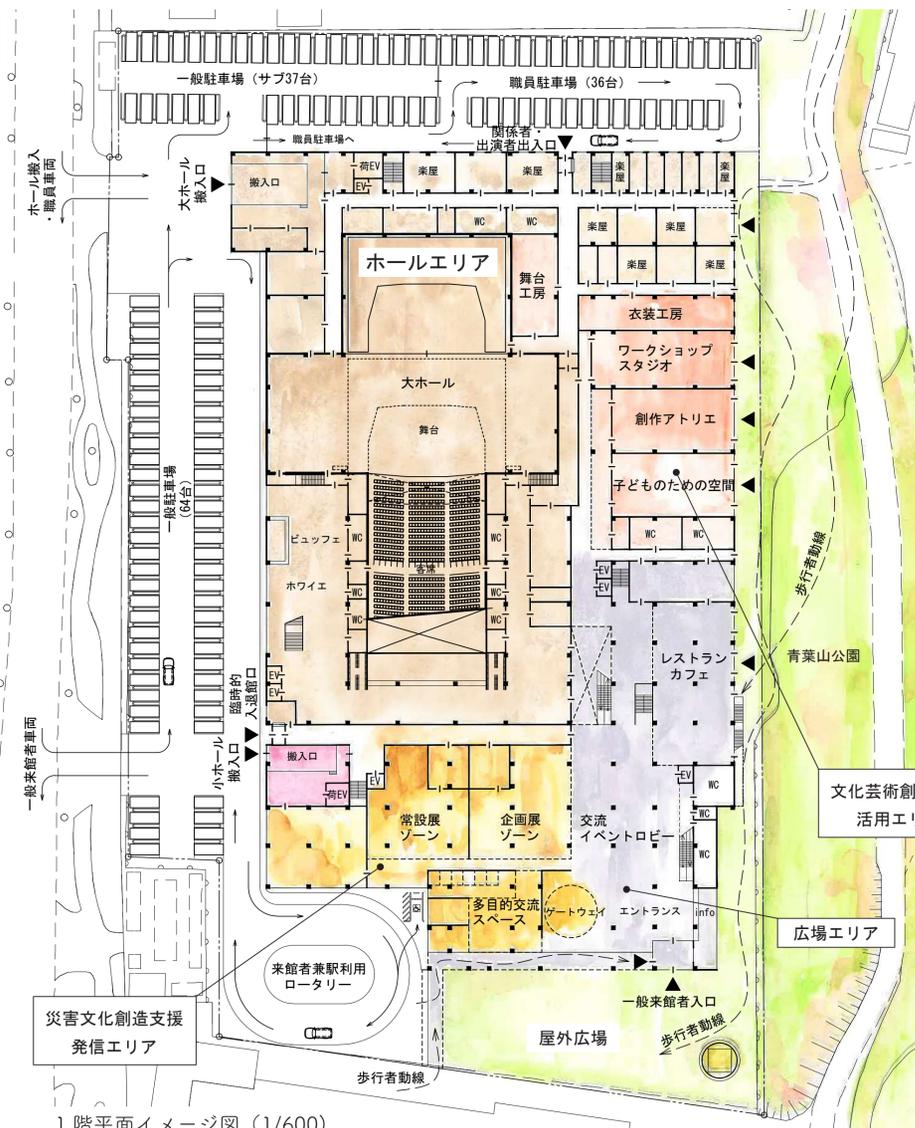
ゲートウェイ、多目的交流、市民研究活動スペースを見る。



屋外広場のクワイエットスペース。



土壁による静かな空間。



●各階延床面積表

PH	1,119	m ²
3階	6,322	m ²
2階	8,934	m ²
1階	10,736	m ²
地下1階	3,972	m ²
合計	31,083	m ²

大ホール 2000席
小ホール 350席

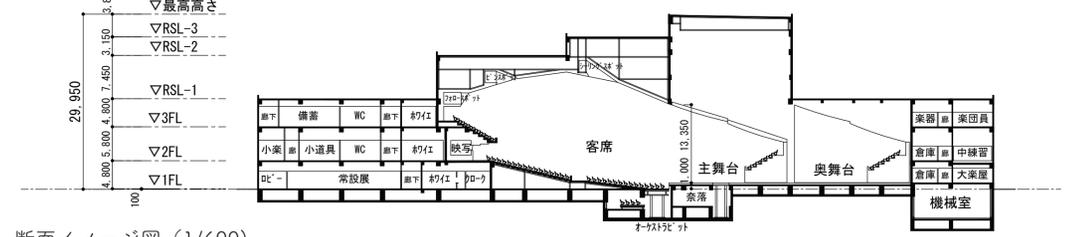
●より多くの人の関わりしろとなるような施設を目指そうと考えました。バラバラで、異なる機能をもつ空間を、その特性にふさわしいままに寄せ集めることにより、そこで展開される多様な活動を、誰もが自由に参加できるように、偶然や出会いの可能性に開かれた施設づくりを心がけます。

計画敷地が自然豊かな青葉山エリアの中に位置することから、その中に建つ建物はヒューマンスケールなボリューム構成とします。平面的、立面的に大きな施設となるため、青葉山や広瀬川の景観にそぐわない巨大な箱型の形状ではなく外観を分節化し、近隣住宅地の街並みにも参加しているような、周辺環境に貢献できる建物を計画します。

機能に応じた、必要最低限の高さとするとともに、地下空間は可能な限り小さくする建築計画・断面構成とすることで土留工事や掘削工事、残土処分にかかる費用等を低減し、工事費の削減を図ります。



●大ホール内部空間イメージ。森の断面のような木装パネルによって不連続な向きの壁面となるようにする。



断面イメージ図 (1/600)